

輸送包装コミュニティの設立

神栄テクノロジー株式会社 計測機器部開発 G ○川口和晃
神戸大学 輸送包装研究室 教授 斎藤勝彦
大阪府立産業技術総合研究所 製品信頼性科 主任研究員 津田和城

1. はじめに

日々直面する業務上の課題を解決するためには、関連する専門文献の読解や、各種イベント（セミナー、研究会、見学会など）から情報収集することが有効と思われる。これらの多くは、情報発信者と情報受信者が明確に区分けされた構図となっており、情報発信者（セミナー講師、著者など）は、決められたテーマを、情報受信者（セミナー受講者、読者など）に向けて情報提供する。そこでの情報のベクトルは一方的であるため、ある情報受信者にとっては、その内容が本来知りたい情報と少しずれたものになっているかも知れない。

ここで、日本包装学会輸送包装研究会が主催する「輸送包装ディスカッション」¹⁾というイベントについて紹介する。本イベントは、参加者一人一人が各自の業務課題を持ち寄り、参加者同士で情報共有しながら、その解決方法についてお互いに意見を出し合う形式を採用している。つまり、ここでの参加者は情報受信者であると同時に、情報発信者でもあるという特徴がある。情報のベクトルが双方向的であることが、情報受信者にとって必ずしも有効であるとは限らないが、自己が本当に知りたい情報を得る可能性は、こちらのスタイルのほうが高いかもしれない。しかしながら、限られた時間の中での議論のため、その途中で終了してしまう場合も多く見られる。また、本イベントの開催は1回/年であり、その開催頻度も多くないのが現状である。

そこで、輸送包装ディスカッションのコンセプトを引き継ぎながら、情報交換の提供頻度を高めることと、輸送包装における総合的情報提供を目的とした、輸送包装コミュニティを設立した。ここでは、輸送包装コミュニティの取り組みについて紹介する。

2. 輸送包装コミュニティ

2.1 輸送包装コミュニティとは

ここでは、輸送包装コミュニティの概要について説明する。

Fig.1 は、現存する各種情報提供インフラに対する、輸送包装コミュニティの位置づけを示している。現状では、情報の双方向性が高く、提供頻度が高い事象に該当するインフラは存在しない。輸送包装コミュニティとは、ここにその地位を確立することを目指し、斎藤教授（神戸大学）、津田主任研究員（大阪府立産業技術総合研究所）を実行委員として協力を仰ぎながら、専用 WEB サイトを立ち上げた。その特徴を以下に示す。

①会員制の情報交換用掲示板

会員同士の情報交換をいつでも可能とするための WEB 掲示板を設置する。これにより、会員同士による双方向性の高い情報交換と、情報提供の高頻度化が期待できる。

②輸送包装分野の総合情報提供

セミナー、ブログ、論文、参考文献/HP の情報を整理してワンストップで閲覧できる。

③会員対象者

輸送包装に関わるすべての企業・団体・個人の方（参加費無料）

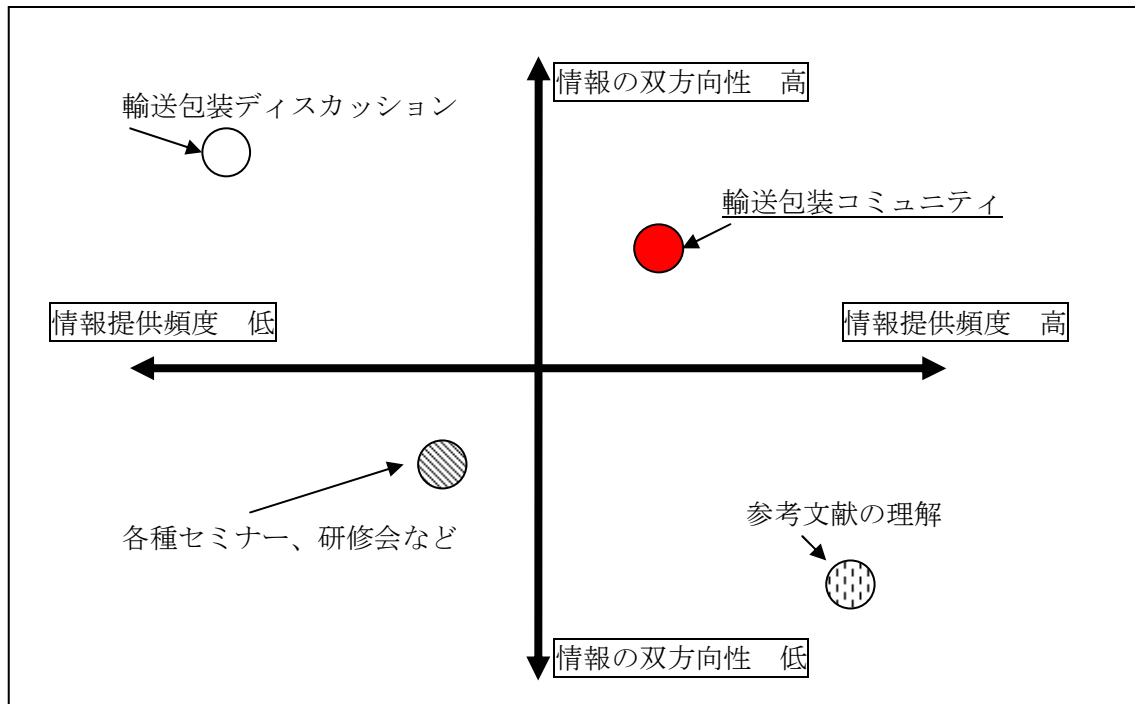


Fig.1 輸送包装コミュニティの位置づけ

2. 2 WEB サイト

輸送包装コミュニティ WEB サイト(Fig.2)は以下のアドレスで既に開設されている。

<http://www.packagingtech.org>

会員希望の方は、お問い合わせ画面より、必要事項を記入し送信すれば、次項の会員専用ページを閲覧することが可能となる、個別IDとパスワードが発行される。(会費は無料)

2. 2. 1 情報交換用掲示板

情報交換用掲示板(Fig.3)では、個々の会員が抱える輸送包装に関する課題の提示、それに対するアドバイス、参考情報の提供だけでなく、

自主的な新技術や製品の情報提供が行える。これらを通じて、業務改善のための糸口や最新情報



Fig.2 輸送包装コミュニティ WEB サイト

提供・収集の場として、今後活発に活用されることを期待したい。

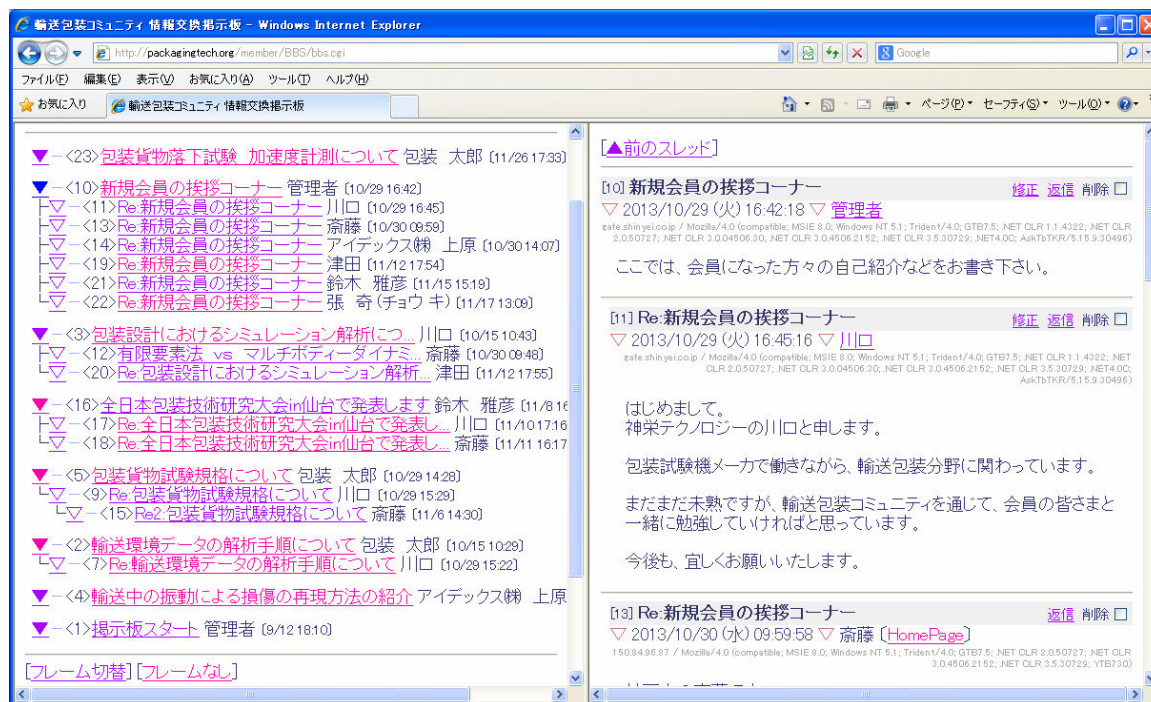


Fig.3 情報交換用掲示板画面

2. 2. 2 輸送包装分野の総合情報提供

輸送包装コミュニティは、輸送包装分野の総合情報提供もその特徴として挙げており、現状は以下の4つの項目の情報を提供している。

1. セミナー情報（フリー閲覧）
2. 輸送包装関連ブログ（フリー閲覧）
3. 既報論文一覧表（会員専用ページ）
4. 参考文献、ホームページ（会員専用ページ）

1では、輸送包装に関係した公開済のセミナー情報をまとめている。

2では、主にコミュニティ実行委員が運営するブログを紹介している。今後は、会員が運営しているブログを募集し、当サイトに追加しながら、ネットワークを広げるような取り組みを推進していきたい。

3は、会員のための専用ページ（IDとパスワードが必要）である。ここでは、輸送包装に関する既報論文で、且つインターネット上でその内容が閲覧可能なものをリスト化し、リンクをクリックするだけで論文表示できる（Fig.4）。さらに将来的には、会員が持つオリジナルペーパーも募集し、リストを充実化していくことも検討したい。

4についても、会員専用ページとなり、主に輸送包装の基礎となる参考文献やホームページを紹介している（Fig.5）。



Fig.4 論文一覧画面

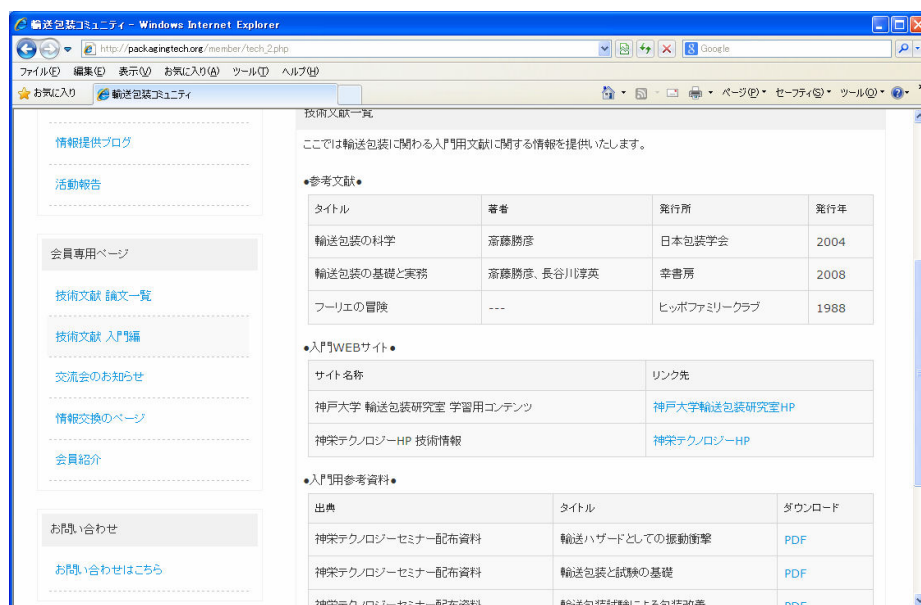


Fig.5 参考文献一覧画面

3. おわりに

輸送包装コミュニティの活動としては、しばらくはWEBサイト運営を行いながら、定期的な情報発信が主要となると思われるが、将来的には会員が集合した交流イベントなども開催し、会員にとって、より有効性の高い情報提供インフラを目指していきたい。そのようになるには、まずは輸送包装コミュニティそのものをより充実していく必要があるため、いろいろな方々のご意見を頂戴できれば幸いである。

- 1) 輸送包装ディスカッション 2013 開催報告,日本包装学会誌 Vol.22(5),p.379(2013)